

令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2023.8.3(木)

事業コード	23-G-02	学校名	可児市立東明小学校		住所	可児市久々利1945
実施日	6月30日(金)13:15~14:45			受講児童生徒数	82名(5年生37名/6年生45名)	
開講職種数	6職種	指導者数	13名	参観保護者数	0名	

※体験授業直前に大雨警報が発令され、下校時間繰り上げとなったため、体験活動を優先し終了時間を繰り上げて実施

学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
 - ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 - 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- ・急な時間短縮により、体験活動を優先して進行いただいたため、せっかくご準備いただいた職業講話に十分な時間が充てられず、申し訳ありませんでした。それでも、子ども達は楽しそうに取り組めました。
- ・どの講座も好評で、それぞれ持ち帰れる作品があったのも良く、教室ではできなかった作品を自慢げに仲間に見せあっていました。ものづくりの魅力の一端を知り、職業や労働に興味をもつ機会となりました。
- ・小学校でのキャリア教育はこの授業から始まると言っても過言ではありません。子どもたちは、どのような職業が世の中にあるのかほとんど知らないのが現状です。こうした体験授業を通して、少しずつ知っていくので、大変有意義な事業だと思います。また、実際に体験できることはインパクトも強く、場合によっては将来、体験した職種に就職するかもしれません。

会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった	→	4	②ある程度伝わった	→	2
③あまり伝わらなかった	→		④全く伝わらなかった	→	
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください
 - 学校アンケート 質問4 の回答と同じ

指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

- 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった	5
②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった	1
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった	
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった	
- 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・ものづくりの分野では、どの企業も技能者不足に苦しんでいます。ものづくりの技術者は短期間で養成できるものではなく、小学校時代からものづくりに関心を持ってもらうことが重要です。このことはどの企業も十分理解していますが、継続して体験教室などを実施するためには、場所・指導者・費用の課題があるため、かなり困難な現状です。将来を見据えると、少子化のため労働者が少なくなり、輸出大国日本としては極めて重大な問題と認識しています。とりわけ、ものづくりの中部においても、一部企業では子ども達の体験施設を常設していますが、その数は極わずかです。(ヤマザキマザック工作機械博物館では、見学・講義の他に2種類の体験活動を1日2回制で実施)全国的に、国・県・市町の行政の方には、ものづくりの重要性を再度認識していただき、体験授業等を是非拡充していただきたいと思ひます。(仕上げ職種)

・学校で体験授業を行えることが素晴らしいです。この事業の体験授業は、学校の教室ででき、そこには学校の先生もいるので、子ども達は真剣に職業講話を聞いたり、体験活動に挑戦したりと、今までやったことのない体験をしたことで、「できた!」「楽しい!」「うれしい!」という言葉を受け、しっかりキャリア教育として成り立っています。この体験を通して、職業に就いてくれることが期待できます。是非、事業の更なる拡充を願ひします。(和裁職種)

・岐阜県は、匠の国・岐阜県伝統建築家の認定証を発行するなど、技能者にはご理解をいただいています。しかし、現場では、職人が高齢化し、若手の「担い手」が、著しく減少しています。建築工務店でも死活問題になっています。「岐阜県は木の国・山の国」と言われるように、木を使った家を完成させる大工を養成することが喫緊の課題と考えます。小学生から「ものづくり」に興味を持たせる体験授業は、大切に素晴らしい取り組みだと思います。できれば、「まるっと一日職人体験」といった1日かけて体験活動ができるような授業に発展させたいと思ひます。(建築大工職種)

・左官という業界は、一人前になるまで5・6年かかるので、若い人には長く働いていただくため、3年で一人前と認めているようです。会社によっては、いろいろな資格取得ができるよう工夫しています。(左官職種)

・現在、職人不足が深刻な状況です。また、職人の技術・能力も、私たちの若い頃よりレベルが下がっており、今後仕事を受注することが困難になると思われまひます。小中学生の時から、ものづくりの楽しさややり甲斐等を学校教育の場で、少しでも教えたり、職人の言葉でいう「鍛える」ことをしていかないと、今後日本全体のものづくりや職人の技術が失われ、世界からも見放されると思ひます。何とかこの「未来の技能者育成事業」を、この先ずっと続けていただきたいと思ひます。特に、建築業界では職人不足のために現場が止まり、工期の遅れ、仕上り質の低下などの問題が発生しています。国・県・行政、国民全体の危機と捉えて、解決に向けて取り組んでほしいと考えます。その為には、私たちものづくりマイスターも、必ずお手伝ひしたいと思ひています。(表装職種)

・技能士の存在が、あまり知られていないため、人材確保には、ものづくりの職種や魅力を伝えていく必要がありますが、「その機会」がありません。この体験授業は、未来を担う子ども達に、ものづくりの楽しさや喜びを伝えられる貴重な機会です。学校の授業として行えることも素晴らしいと思ひます。子ども達の好奇心に満ちたキラキラとした瞳には、ものづくりの楽しさが「映り」、深い影響を与えるかもしれない機会だと感じました。是非、この事業の継続と拡充を願ひます。(フラワー装飾職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

	仕上げ	和 裁	建築大工	左 官
指導者数	2	2	3	3
受講児童生徒数	14	14	14	13
回答	とても満足した	13	12	11
	ある程度満足した	1	2	2
	あまり満足できなかった	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0
	合 計	14	14	14

	表 装	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)	
指導者数	2	1	13	
受講児童生徒数	13	14	82	
回答	とても満足した	12	73	89.0
	ある程度満足した	1	9	11.0
	あまり満足できなかった	0	0	0.0
	満足できなかった	0	0	0.0
	合 計	13	14	82

仕上げ会場の様子



先生の感想

普段なかなかやれないような体験ができて児童は喜んでいました。
講師の方がとても分かりやすく丁寧に説明していただき、児童は作品を完成させて充実感を味わうことができた。
めもりを使って正確に刻印することの難しさを体感することができた。
天候の関係で予定よりも短時間になってしまったが、実際に児童が自分の手で作品を仕上げることができたことはとても大きな意義があると思いました。

児童生徒の感想

- ・仕上げの仕事についてわかりやすく教えてもらって、よく理解できた。
- ・最初は少し緊張したが、作業中優しく教えてもらって、楽しくできた。ヤスリがけは難しかったけど印象に残った。
- ・こういう作業は初めてだったからいい思い出ができた。この体験を夏休みの作品づくりに生かしたい。
- ・バイクオブジェの部分を3Dプリンターで作る動画が見たかった。また、他の乗り物を自分で作ってみたい。
- ・今日の体験をしてみて、将来「仕上げ」の仕事に就きたいと思った。

和裁会場の様子



先生の感想

講座の初めに、講師の方からなぜ和裁を仕事にすることになったのか、仕事への思いや誇りに感じていることなどについて伺いました。反物から着物に仕上がっていく過程では、少しでも着る人に喜んでもらえるようにとの思いで、一針一針、丁寧に仕立ててみえることなど、和裁の魅力を子どもたちに伝えていただきました。

体験としては、各自選んだ布で、巾着袋を作りました。ある程度まで仕上げていただいたものだったので、短い時間で完成できたり、縫い目の見本にもなったりして、裁縫が初めての5年生にとっても抵抗感の小さいものだったような気がしました。これから学校で「ナフキン袋」として使えたと喜んでいました。

次に、浴衣の着付けをしました。実際に説明を受けながら、同時進行で行いました。講師の方が手伝ってくださったこともあり、全員浴衣を着ることができ、子どもたちは互いに出来栄を見合せて、大変満足気でした。

最後に、浴衣の畳み方もご指導していただき、片付けまで一斉に終了することができました。

予定より短い時間でしたが、子どもたちにとって貴重な体験になったと思います。特に、浴衣を着るということは、日常生活ではなかなか経験しておらず、少しずつ完成に近づいていくにつれ、子どもたちの目がキラキラ輝いていきました。また、自分の「ナフキン袋」も出来上がり、とても嬉しそうでした。本当にありがとうございました。

児童生徒の感想

- ・講師の方のお話を聞いて、裁縫への興味が湧きました。
- ・和裁の先生が縫った縫い目がとても綺麗だったし、縫うのが早くて感動した。
- ・波縫いは、始め難しいと思ったけど、やっているうちにできるようになって、楽しかった。
- ・巾着袋を縫っている途中、糸が針から抜けてしまったが、先生から斜めに糸を切ると通しやすいことを教わった。
- ・浴衣の着付けは、細かいところまで教えてもらったので、よく分かりました。
- ・初めて自分で浴衣を着てみて、難しいところもたくさんあったけど、よく分かって嬉しかった。

建築大工会場の様子



先生の感想

・のこぎりやかんな、電動のドリルにやすりと、建築大工で使われる道具を実際にたくさん使わせていただくことができました。

・かんなの扱い方を教わりながらかんなをかけ、削られたかんな屑の薄さや香りに興味津々だったり、電動ドリルの振動に緊張しながらも真剣な表情で取り組む姿が見られました。のこぎりでの丸太の切断では、のこぎりがうまく動かなかったり、思った以上に力や時間がかかったりしながら、ものづくり(大工)の大変さの一端を実感できたと思います。また、そうした自分たちが苦勞した作業を、やすやすとされる姿を見たり、道具の使い方のコツを丁寧に教えていただいたりすることで、マイスターの方々の技術の高さも実感することができました。体験を通してたくさんの発見や学びができたと思います。

・予定より短い時間になってしまいましたが、丁寧に指導をして頂き、本当にありがとうございました。のこぎりは、図工の時間にも使いますが、普段なかなか触れる機会のない、かんなやドリルなどの大工道具を実際に触って、使うことの難しさや楽しさを体験できたことは、児童たちの真剣な表情や、嬉しそうなお様子からも、とても素晴らしい経験となったと思います。

児童生徒の感想

- ・カンナで檜を削る時、すごく綺麗に削れたし、プロの大工さんが削るところも見れて、すごく良かった。
- ・何の木を使ったか、とてもわかりやすく教えてくれて、覚えることができた。
- ・大工の作業では、使ったことのない道具を使って、すごく面白かった。
- ・カンナかけや紙やすりで研磨はやったことがあったが、ドリルでの穴開けは初めてで、またやりたいと思った。
- ・時間がなくて、ニスでの塗装は大工さんにやってもらったが、機会があったら自分でやりたい。

左官会場の様子



先生の感想

ほとんどの児童にとって、身近とは言えない左官の仕事であったが、こ一つで見事に壁を塗る指導者の技術に驚きと感動があった。
実際に体験してみると、思った以上にきれいに塗ることの大変さも実感でき、完成させた時の充実感のようなものも味わうことができた。
本体験授業を通して、ものづくりの楽しさや、左官という仕事を少し身近に感じる事ができたようだった。
本校の都合(大雨警報の発令)のために、体験活動を優先して、職業講話を大幅にカットして行っていただいたが、やはり、体験と講話の両輪でより意義のある活動となることを感じました。

児童生徒の感想

- ・立ち壁塗りの体験をしたが、左官のプロの方は、とても綺麗で、スピードもあってすごいと思った。
- ・とても難しかったが、時間が経つにつれて少しは上手く塗れて、またやりたいと思った。
- ・印象に残ったことは、壁に壁土を塗るとき、下手すぎて、先生に上手く塗るコツを教えてくださいました。
- ・コテ絵を塗るとき、使う色が少し堅くて苦労したが、先生が塗り方を教えてくださいました、材料に水を入れて柔らかくしてくれるなど、いろいろ手伝ってくれて、とても楽しかったです。

表装会場の様子



先生の感想

・数多くの壁紙の中から、児童が好きな柄や模様を選べるようにして下さっていたことがまず、子どもたちにとって嬉しい体験だったと思います。同時に、表装の職種で取り扱われている和紙の種類の多さやその魅力を感じられました。
・タペストリーを製作する体験活動では、糊が和紙からはみ出さないようにしながら塗り残さないように塗ったり、空気が入らないように板を和紙の上に置いたりするなど、真剣に子どもたちは作業をしていました。慎重に和紙を板に載せる様子から、「いい作品」を作りたいという気持ちが伝わってきました。このように、ひと手間ずつ心を込めて商品作り上げていく大切さや、楽しさを体験して知っていける機会は素敵だと感じました。また、紐を結ぶのに苦戦していた子が何回も挑戦するうちに少しずつコツを掴むこともあり、ものづくりマイスターさんの職人技の高度さや、技術を身に付ける苦労などについても児童は驚いていました。ものを作る仕事の楽しさやその思いについてもまた、学級で話をしていけたらいいと思います。「本物」のものづくりに触れることができ、素晴らしい事業でした。
・急な時間短縮になってしまったのにも関わらず、時間内でできる限り子どもに体験させよう、作品を完成させようとして下さったことが大変有難かったです。活動終盤も、時間があるなら、普通の障子と金子表具店さんの破れにくい特別な障子とを破り比べできる体験まで全員にさせていただき、子どもたちはとても喜んでいました。体験活動中も常にお二人の先生方が児童の間を回って、苦戦している子や困っている子をサポートして下さっていました。児童も「先生先生！」と手を挙げて質問し、実際に職人の先生方から教えていただけるのが楽しそうでした。児童にとっても、ものづくりを身近に感じられる経験になったと思います。貴重な体験を本当にありがとうございました。

児童生徒の感想

- ・実演の時、先生が手際よくやっていたのが、すごいと思った。
- ・先生の説明が、すごく分かりやすかった。体験活動は、楽しくももっとやりたかった。
- ・少ない時間で、タペストリーづくりがうまくできて、嬉しかった。体験中は本当に楽しかった。
- ・タペストリーにゴム紐を通して、結ぶのが楽しかった。大満足。
- ・タペストリーづくりで、自分が好きなデザインで作ることができて、印象に残った。
- ・のりを塗る時は、いつもは端から塗っていて、紙がふにやふにやになってしまっていたが、先生から真ん中から塗ると上手に貼れると聞き、次からは真ん中から塗るとい気づきがあった。
- ・最後にやった障子破りが楽しかったし、先生の説明も分かりやすかった。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

- ・実際に、写真だけではなく、花束を作る場所を見せていただきながら、説明をしていただいたので子どもたちもとても興味をもつことができました。指導者が一瞬の間にフラワーアレンジメントを作られたのを見て、その技のすばらしさに感動していた。
- ・体験では、基本的なことだけを教えていただき、大半は創作活動を行った。児童の創造性を大切に指導していただけだったので、児童は、主体的に楽しく活動を行うことができました。また、一人ずつ丁寧に作品のよさを認めてもらえたので、どの児童も満足感を得ることができ、充実した活動となった。
- ・児童は、指導者の仕事に対する思いを聞くだけではなく、実際に自分で体験を行うことができたので、授業を通してたくさんの発見や学びがあり、充実した貴重な時間になった。
- ・急な天候の変化に対応していただき、短い時間でも充実した活動になるように工夫していただけたことが、本当にありがとうございました。作品も、子どもたちが扱いやすく、自主性を大切にできる素材が選ばれていました。また作った作品は、この先ずっと飾ることができるため、子どもたちの心に、今後もこの体験が残っていくものと思います。機会があれば、来年度もぜひ実施したいです。

児童生徒の感想

- ・少し難しい説明もありましたが、写真を見せてもらいながらの説明で分かりやすかったです。
- ・花は、結婚式や葬式などで、明るく華やかな雰囲気や落ち着きめやかな雰囲気を作るなど、場面に合わせた演出をすると説明を聞き、「確かに」と思うことがたくさんあった。
- ・実演では、花束を作る早さがとても早くびっくりした。リボンもすぐに完成させて、さすがプロと思った。
- ・ドライフラワーの花束をもっと作りたいと思った。センスはいいの分からないけれど、自分的には綺麗にできた。
- ・メインの花を目立つようにするということが難しかった。周りに綺麗な花(明るい花)を入れると、メインが分からなくなってしまうので、ある程度「小さい花を入れる」と言うことを教えてもらい、意識したら上手にできた。
- ・自分なりのオリジナル作品を作れたし、いろいろなテクニックを覚えてもらったので、もう一回作りたいと思った。